

第9回 全国被災地 語り部シンポジウム in 東北 2024

～ 3.11から何を学び、何を伝えていくか～

定員 200名 **参加無料**

令和6年 **2月25日(日)**
■エクスカージョンプログラム:2月25日(日)・2月26日(月)



会場 / 南三陸ホテル観洋 (宮城県本吉郡南三陸町志津川字黒崎99-17) TEL.0226-46-2442
および南三陸町内・気仙沼市内・石巻市内

令和6年1月に発生した能登半島地震の犠牲者の皆さまに哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。
あの東日本大震災発災から13年が経過しようとする今、災害の記憶・関心の風化は避けられず、災害伝承を取り巻く環境はより重要性が高まっています。
また今後も起こりうる自然災害に対し、過去の災害から何を学び、何を生かして備えるべきか、この先の未来の災害には待ったなしの状況が続きます。
災害を伝えてきた語り部の英知、知見、経験を紡ぎ、広く発信してきた私たちが次に取り組むべきものは何か。
各地の防災、減災、備災に繋げていくためにも次世代伝承(縦の伝承)と地域間伝承(横の伝承)をより広げ、
これからさらに「命を守り、守り続ける語り部」を東北の地で共有します。
多様な交流を創るシンポジウムに地域や世代を超えて皆さまが集うことを願います。



【プログラム】

- 2月24日(土) 【プレイベント(浪曲+ミニトーク)】 19:45～21:00 浪曲師:菊地まどか氏&語り部ゲスト
- 2月25日(日) 【エクスカージョンプログラム①】
 - ▶震災を風化させないための語り部バス
[A.南三陸コース] 10:30～12:00
[B.気仙沼コース] 8:30～12:20
 - 【第1部】▶開場 13:10～
▶開会セレモニー&オープニングプレゼン 13:30～13:55
▶基調講話 14:00～14:40
▶パネルディスカッション 14:45～16:15
 - 【第2部】▶分科会(3会場) 16:30～17:50
①「あの日、あのとき、わたしは」
②「KATARIBEを世界へ」
③「次世代に伝え、広げ、繋げていくために」
 - 【第3部】▶クロージング(全体総括・語り部宣言) 18:00～18:15
 - 【懇親会】 18:45～20:00
 - 【トークイベント】▶「南三陸てん店まつり」語り部座談会 20:10～21:00

- 2月26日(月) 【エクスカージョンプログラム②】▶語り部バスオプションツアー
[A.南三陸を学び、感じるコース](午前のみまたはフルコース)
[B.石巻を学び、感じるコース]

2/25(日) 無料シャトルバス【特別便】運行 予約制
往 【仙台駅】10:20発⇒【南三陸ホテル観洋】12:00着
復 【南三陸ホテル観洋】18:30発⇒【仙台駅】20:00着

南三陸ホテル観洋ホームページ URL▶<https://www.mkanyo.jp> ※プログラムの詳細・参加お申込み方法は裏面をご覧ください
シンポジウムの詳細を随時UPいたしますのでご覧ください。

■主催:全国被災地語り部シンポジウム in東北 実行委員会
(南三陸ホテル観洋・南三陸町地域観光復興協議会・北波震災記念公園・北波震災記念公園震災の語り部ボランティア・Kataribe World Network・多文化と共生社会を育むワークショップ・エフエムわいわい)

■共催:(株)阿部長商店 南三陸ホテル観洋

■特別協力:(株)ほくだん 南三陸ホテル観洋協力会 (一社)東北みらい推進機構
(科研)首都直下地震等大規模災害のセーフティネットとしての準公営住宅の国際比較研究

■協力:(有)スガワラ電化

■後援:宮城県 宮城県教育委員会 気仙沼市 気仙沼市教育委員会 南三陸町 南三陸町教育委員会 (一社)気仙沼市観光協会
(一財)3.11伝承ロード推進機構 大川伝承の会 海の見える命の森実行委員会 他

WEBからも簡単にお申込みいただけます。
お問合せ・お申し込みは…
実行委員会事務局(南三陸ホテル観洋内)
TEL:0226-46-2442 FAX:0226-46-6200
minamisanriku_somu@kanyo.co.jp